

平成31年度年間授業計画

教科科目	教科:(地理歴史) 科目:(日本史A) 単位数:[2単位]
教科担当	(1組:佐藤英理人)(2組:佐藤英理人)(3組:佐藤英理人)(4組:佐藤英理人)(5組:佐藤英理人)
使用教科書:	改訂版 日本史A 人・くらし・未来 (第一出版社)
副教材等:	なし

期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
一 学 期	4	オリエンテーション 序論 歴史を学ぶ意味 第1章 近代への胎動 ・日本のあゆみをふりかえろう ・せまってくる外国船 ・ちからを蓄える庶民 ・近代思想のいぶき ・揺らぐ幕藩体制 第2節 明治維新 ・黒船がやってきた	・自己紹介 ・授業の進め方、評価の方法等のガイダンス ・身近な社会的事象や、地域的事象、現代の課題などを追究し、近現代の歴史的事象と現在との結び付きに気付くことで、自らが歴史の当事者であることを知る。 ・江戸時代の日本の対外関係について知る。 ・近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について学び、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを知る。 ・開国に至る経緯と、幕府の対応について知る。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査)	22
	5	第2節 明治維新 ・志士たちの時代 ・手を結ぶ薩長 ・近代との出会い ・江戸が東京になった 第3節 近代国家の確立 ・天皇の軍隊がつくられた ・スローガンは「富国強兵」 ・米文化がはいつてきた	・日米修好通商条約の締結によって、日本が欧米の貿易市場として開かれたことを知る。また、その内容が不平等な条約であったことを知る。 ・開国後の政治情勢の中で尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。 ・明治新政府が中央集権化を図るとともに、富国強兵、殖産興業政策の下で、廃藩置県、封建的身分制度の廃止、学制や徴兵令、地租改正などの諸改革を実施したことを知る。 ・欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。		
	6	第3節 近代国家の確立 ・日本の国境が定まった ・爆発する農民や士族の不満 ・国会開設が決まった ・地主制が進行した ・立憲政治がはじまった ・国会がはじめて開かれた	・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを知る。 ・この時期に、日本の領土が国際的に確定したことも知る。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを知る。		
	7	第4節 対外関係の変化 ・欧米と肩を並べる国をめざして ・清国との対立が深まった ・ロシアとの戦争がおこった ・アジアへの侵略がはじまる	・明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを知る。 ・日清・日露戦争の経緯と結果を知る。 ・日清・日露戦争を経て、アジアに対して日本が勢力の拡張をおこなったことを知る。		
二 学 期	9	第4節 政党政治の展開 ・藩閥と政党が接近した ・民衆が政治を動かしかしはじめた ・「平民宰相」が登場した 第2章 近代産業の発展と社会運動の展開 ・日本の生糸が世界を制す ・欧米の資本主義に仲間入りした ・貧富の差が広がった ・抑圧からの解放を求めて	・第一次護憲運動と原敬内閣の成立により、本格的な政党内閣が組織されたことを知る。 ・日清・日露戦争の過程で、日本に産業革命がおこり、資本主義が確立したことを知る。 ・資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを知る。 ・社会運動の広がりとともに、大正期には女性解放運動が展開したことを知る。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査)	28
	10	第2節 国民生活の変化と文化 ・明治の国家主義と大正のデモクラシー 第3節 第一次世界大戦と日本 ・最初の世界大戦に日本も参戦した ・朝鮮・中国の民衆が立ち上がった ・日本は欧米に歩調をあわせた ・成金の時代がやってきた	・国家主義思想や大正デモクラシーの風潮に着目して、明治期と大正期の思想の違いについて知る。 ・加藤高明内閣のもとで普通選挙法が成立したことを知る。 ・第一次世界大戦に日本が参戦した意図、また第一次世界大戦を通しての日本の外交方針について知る。 ・第一次世界大戦後、国際的に民族運動が高まったことについて知る。 ・パリ講和会議とワシントン会議及び幣原外交について知る。 ・第一次世界大戦が日本に与えた経済的な影響について知る。		
	11	第4節 第二次世界大戦と日本 ・恐慌の嵐が吹きあれる ・日本の外交が行きづまる ・軍部の暴走がはじまった ・中国との長い戦いがはじまった ・戦争の影が文化に及ぶ ・すべてが戦争に協力させられた	・国内的な第一次世界大戦以後の慢性的な不況と、国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを知る。 ・軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について知る。 ・日中戦争が長期化する中で、国内では大政翼賛会が発足して全体主義的な国家体制が構築されるなど、東亜新秩序の形式によって局面を開開しようとしたことを知る。		
	12	第4節 第二次世界大戦と日本 ・アメリカとの戦争がはじまった ・戦争が拡大する ・アジア・太平洋の諸民族にかかわった ・生活も戦争に染まった ・戦争が終わった	・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を知る。 ・アジア・太平洋戦争の過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを知る。 ・日本がアジア諸国に対して与えた影響について知る。		
三 学 期	1	第3部 第1章 第1節 日本の再出発 ・占領軍がやってきた ・日本が生まれかわる ・新しい国のしくみ ・飢えとたたかい ・民主化から経済復興へ ・複雑な環境のなかでの独立	・第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革の内容について知る。 ・日本国憲法について、その制定までの過程や内容の特徴を知る。 ・日本の経済復興の過程を知る。 ・戦後の深刻な国民生活の実態について知る。 ・国際的な冷戦のはじまりと、日本に対する占領政策の転換からサンフランシスコ平和条約の締結に至る経緯と背景について知る。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査)	20
	2	第2節 独立後の政治と対外関係 ・平和への願いが叫ばれた ・保守と革新の正面衝突 ・奇跡の経済成長が始まった ・あらたな戦争にまきこまれた ・2つのショック	第2節 独立後の政治と対外関係 ・平和への願いが叫ばれた ・保守と革新の正面衝突 ・奇跡の経済成長が始まった ・あらたな戦争にまきこまれた ・2つのショック		
	3	第2節 独立後の政治と対外関係 ・経済大国が誕生した ・バブルはこうしてふくらんだ ・大きな歴史の転換をむかえた	・国際的な冷戦の終結後の世界情勢と、国内的な55年体制の崩壊について、知る。 ・現在の日本がかかえる諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という面から知る。		
					70